



★ひまわり作りの夏が終わりました！

8月末のひまわりパーティと夕涼み花火大会の開催をもって、きみどりの夏が終わりました。手作りひまわりは当初プロジェクトが考えた以上の様々な形で集まりました。職員の皆さん、ご協力ありがとうございました。入居者の皆さんと二人三脚で進めたひまわり作りは如何だったでしょうか？何かしらの共感があったでしょうか？施設といえば、集団生活になりがちです。その中で「少しでも個々人の好みや時間を大事にする関わりを！」というオリブケア(個別ケア)を活かす良い場になったのではないのでしょうか。「過程を大事に！」「個々を大事に！」(施設長談)をモチーフに進めてきたひまわり作りは一区切りです。なお、このモチーフは第2楽章に引き継がれます。

若手も頑張る制作奮闘中！

完成時は笑顔も！

2019年夏

完成したひまわりの一部です。どのような飾り方が良いでしょう？アイデア募集！

★第2楽章の始まり。たいよう学園との共同制作はゴッホ【星月夜】を目指す。

第2楽章は共同制作になります。題材は「ひまわり」から「星月夜」に移り、ゴッホの世界へ更に進みます。

星も月も雲も、ぐるぐる回っている。糸杉もゆらゆら揺れている。まるで心の葛藤のよう。うれしい時も、不安な時も、精神的にゆらゆら、ぐるぐる、色々なことを思っていたゴッホの世界へ。子供達と手を携えて……………！

【制作分担】

きみどり⇒糸杉・月・教会・雲(通称・“うずまき”)を三つ編みで。

たいよう学園⇒星(通称・“ぐるぐる”)を一人一個ずつ合計80個作ります。

以上の作品を組み合わせ壁面にしていきます。本当に出来るのでしょうか？

職員、入居者皆さん、ご協力お願いします！《夢見る夢子のプロジェクトより》



教会 拡大

★みんなで“三つ編み”で遊みましょう！！

〈三つ編みをおひとりで出来る方に〉

いつでも材料をそばに置いて、気軽に編んで頂きましょう。時間がお有りの時は、お誘いしましょう。テレビはテレビの良さがありますが、しかしテレビは飽くまで享受し、楽しむものです。TVが受動的としたら三つ編みは能動的で、能動的であると、たくさん心地よい感覚が返ってきます。それによって生まれてくるのは、達成感であったり、“創る”喜びであったりします。特に女性陣にとっては髪や生活上の紐等々身近なものです。手を出しやすく、また自信のある方(或いは蘇らせた方)は「気をそそられる」ものです。皆さんでテーブルを囲み、職員の働きかけ次第で、おしゃべりが拡がり、共感も生まれます。一人黙々とやる作業ではありません。「新聞たたみ」や「ウエス切り」とは違います。その為に目標と出来具合をお見せしていきたいと思えます。又、紐の先端をセロテープで止めて、おひとりでおこなう方。先端を持ってあげた方がよい方、それぞれの違ったやり方でOKです。さあ～始めましょう！

〈三つ編みをなさらない方は〉

編む作業に同調してひもの端を引っ張りながら持つて頂けるかどうか？言葉を介さないコミュニケーション、向き合う絶好のチャンスです。持つてもらうことが役割を果たすことにつながり、気持ちのキャッチボールも可能です。ここが大事だと思います。ある場合には端を持つだけでなく、出来た三つ編みをして均等にきれいにしてくれたり、できた紐を、並べてくれたりご自身の役割を拡げてくれるかも知れません。いずれにしても楽しく協同作業場面ができれば、それで十分だと思います。

【三つ編みが出来ても出来なくても、そしてそれらの活動を一瞬にして忘れても、肝心要はその場の楽しさと共感！】

端を持つたり、持たれたり、ご自分で編んだり、子供に教えたり…様々な形で遊みましょう。



職員に持って貰う お独りで 入居者さん同士で 子供と一緒に 職員が編む

【紙面拝借】夕食後、夕涼みを兼ねて花火会を開きました。お隣の施設の方も出て来られて30名前後の参加でした。途中の休み時間にはアイスクリームが配られて、名残行く夏を楽しみました。暗くなつての外出も久しぶりだったのではないのでしょうか？駐車場に広がった煙や火薬の臭い、花火を持つ子供の姿に遠い昔のご自身を思い出された方もおられたのではないのでしょうか。皆さんの前で線香花火を披露してくれたOさんのお孫さん。「大きい花火がいいな」と「ドーン」と大声を出されていたYさん。終了後、フロアに戻って歌を歌ってくれていたSさん。盛り上げ係を勝手出で頂いた皆さん、有難うございました。在宅なら経験しているだろう様々な事柄、また逆に施設だからこそ出来る様々なことをこれからも実施していこうと思えます。(花火係より)

